

協議会とりまとめに対する反響等

1. 社会的反響等について

- 3月に公表した協議会とりまとめについては、新聞やテレビ、ウェブサイトなどにおいて数多く取り上げられたほか、その後も雑誌や新聞などにおいて、関連する記事やコラムが見受けられるなど、社会的な反響・関心が非常に高い。
- 公表後、国土交通省のホットラインステーション（HLS）や事業者に対しても、数多くの意見が寄せられている。

2. 意見の概要について

- HLSや事業者寄せられた意見を整理すると、概ね以下のとおりである。
- 内容は、新しい意見というよりも、これまで繰り返し指摘されてきた事項が、改めて意見として寄せられており、マナー等に関する否定的な意見・苦情が相変わらず多く見られる。
- なかでも、「基本的にたたまずに乗車できる」、「エレベーター利用を進める」といった点はある程度認識されたと思われるが、ベビーカー使用者が「周囲に配慮した操作」や「譲り合って利用」をしましょうといった基本事項を十分に理解せず行動していることが苦情の原因となっており、同じ子育てをしている親も迷惑に感じている。
- このように、呼びかけることとした内容全体が十分に周知・理解されているとはいえず、今後の取り組みにあたっての課題である。

(1) 肯定的意見

「たたまずに乗車可能」、「お互いに配慮を」といったことを呼びかけた結果、ベビーカーを利用しやすくなったとの意見が寄せられている。

- 利用環境が向上した

(例)「子供の安全を考慮してもらったことに感謝」、「たたむことは重くて大変で危険だったのでよかった」、「バス車内でのベビーカーの使用方法が分かるようになった」、「ベビーカー使用者に対する配慮や理解が増えた気がする」、「ベビーカーでのエレベーター利用が優先されるようになった」、「ベビーカー使用者の乗車数が増えた」 等

- 利用者のマナーが向上した

(例)「利用者全体のマナー向上に貢献している」、「乗客がベルトでしっかり固定するようになった」、「未使用時に折りたたむ利用者が増えた」 等

- 更なる取り組みを求める

(例)「たたんだベビーカーを固定できるスペースやベルトなどがあればよい」、「朝夕だけでも優先車両があれば便利」 等

(2) 否定的意見・苦情

【使用マナーに関するもの】

ベビーカーの操作・使用方法等について、周囲の方からだけでなく、同じ子育てをしている方からも、マナー違反を指摘する意見が寄せられている。

- ぶつかって危険である
(例)「ベビーカーで人を押しのける」、「車輪で足を踏んでも謝罪がない」、「前方不注意等で他人に衝突する」、「高齢者がベビーカーにつまずき体勢を崩す」 等
- 集団移動していて邪魔になる
(例)「複数台がかたまって出入り口を占領し、乗降に支障をきたしている」、「通路を広がって移動している」 等
- ベビーカーの使用方法について疑問がある
(例)「子供を乗せずに荷物置きにしている」、「携帯に集中し、ベビーカーを見ていない」、「子供が泣いたり騒いでも知らんぷりしている」、「停止時にストッパーをかけない」 等
- 一方的に権利を主張しすぎている
(例)「車いす使用者や高齢者を押しのけてエレベーターを利用する」、「ベビーカーで乗車は当然・優遇されて当然との態度や発言をする」 等

【基本的考え方に関するもの】

ベビーカー使用そのものに関する内容など、理解を得るのが難しいと思われる意見も寄せられている。

- たたんで乗るのがマナーである
(例)「昔はたたむのがマナーだった」、「おんぶや抱っこよりベビーカー使用を奨励するのはおかしい」、「これまで抱っこしていた親もベビーカーを使用するようになり、さらに混雑する」、「公共交通機関での利用を想定していないはず」 等
- 状況を考慮した対応をすべきである
(例)「混雑時はたたむべき」、「車内が狭いバスはたたむべき」、「座席に座っている場合はたたむべき」、「混雑時をずらして乗車するよう呼びかけを」、「ベビーカーは乗降に時間がかかり、遅延の原因になる」 等
- 利用者間で公平に取り扱うべきである
(例)「多数の利用者の方が犠牲になるのはおかしい」、「ほかにも優先させるべき対象者がいる」、「ベビーカーのみ優先するのはおかしい」、「車椅子スペースがベビーカーで埋まり、車椅子使用者が使えない」、「手回り品サイズ以上のものは手荷物料金を徴収すべき」 等

【その他】

交通事業者やメーカー等の取り組みを求める声も寄せられている。

- 事業者等の取り組みが不十分である
(例)「車内アナウンスがない」、「マナーを守り、迷惑をかけないように呼びかけてほしい」、「小型で安全な製品を販売してほしい」 等

(3) 今後の課題等

今後取り組むべき事項として、以下の点が指摘されている。

- ベビーカー使用者のマナー向上が必要
(例)「ベビーカー使用者に対するマナーの喚起を」、「他の客に対する配慮を」、「周囲への配慮があってはじめて優先してもらえる」、「乗車時には固定を」 等
- 周囲の方の理解を深めることが必要
(例)「ベビーカー使用者に対する思いやりを」 等
- ベビーカーの取扱い方法に関する周知が必要
(例)「分かりやすい内容で周知を」 等
- ベビーカーの利用環境の整備が必要
(例)「車椅子使用者への配慮」、「固定ベルトの増設」、「車椅子スペースの増設の要否の検討」、「ベビーカーマークの掲出」 等